

## 大島の造船マンが作り上げた高糖度ブランドトマト (株式会社大島造船所)

### <法人の概要>

所在地：長崎県西海市

設 立：昭和48年 2 月

資本金：56億円 売上高：1414億円（うち農業 1 億円）（平成25年）

従業員数：1252名（農業部門 7 名）

経営面積：2.6ha

営農作物：トマト（高糖度トマト）

農業開始時期：平成24年



大島トマト農園全景



大島造船所シンボルマーク  
いかり  
（ 錨 とトマトが描かれてます）

### <農業参入に至った経緯・動機>

株式会社大島造船所は、建造船種をバルクキャリアー（梱包されていない穀物や鉱石等を運ぶ貨物船）に特化した世界で唯一の会社で、年間30隻以上の連続建造を実現しており、「バルクの大島」と呼ばれている。

世の中がバブル景気で湧いていた昭和63年頃、造船業界は大変な不況にあり、従業員の雇用確保のため、新しい事業に取り組めないか社内で検討していたところ、高糖度トマトの栽培があることを知り、これに取り組むことになった。

### <農業参入することを決めてから営農開始まで>

大島造船所は、昭和63年にトマト栽培を開始したが、農業に関してはゼロからのスタートであったため、高糖度トマトの生産技術をもつ会社から栽培ノウハウ等の指導を受けることになった。

トマトハウスの用地は大島造船所の職員用の宅地の造成跡地を活用した。また、施設整備等にあたっては、造船業における新規事業の取組支援として当時の運輸省（現国土交通省）の補助事業を活用したため、行政機関の農政部局への相談等は特に必要がなかった。

#### <営農開始から現在まで>

生産を開始した当初は失敗も多かったが、試行錯誤を重ねることで近年では栽培ノウハウが蓄積され、品質・収量ともある程度安定してきた。現在では年間約52,000株を栽培している。

特に、水を与える量を抑えるなどして糖度を高める栽培方法によって生産される高糖度トマト（8度以上）は「大島トマト」として販売しており、ブランド化にも成功した。なかでも糖度9度以上のトマトは「ルビーのしずく」（商標登録済）として12個入り3,600円で販売している。

販売は個人注文が中心であり、年間の売上高は1億円を超えるまでになっている。大島トマトはテレビ局に取り上げられることも多く、先日は日本テレビの「鉄腕DASH」でも紹介されたことで大きな反響があったところ。

大島トマトは造船所の顧客の贈答用にも使われており、会社のPRにも寄与している。大島造船所では、環境と食料問題にも貢献していきたいと考えており、トマト生産はこれに沿った取組の一つである。

#### <今後の農業経営の展開方向>

大島トマトは独自のブランド・販路・生産体系が確立できているため、今後ともこれを維持しつつ、さらなる技術向上を図っていききたいと考えている。

なお、トマトの自動選果機を平成18年に導入したが、更新時期を迎えており、その対応が必要。また、農業用水施設がないため、灌水には水道水を利用している状況。さらに燃油の高騰により暖房費も増加しており、維持管理コストの高さがネック。これらの課題等に対応していく必要がある。

#### <今後農業に参入しようとする法人に対するアドバイスや行政への要望事項など>

農業には、土壌改良や水、温度管理のほか、施肥、日照、病害虫対応、機械操作、ハウス補修など、様々な事項に対して的確に対応していく能力が求められる。農業経営を成功させるためには、優れた技術指導者の確保が重要と考える。

企業の農地所有については、真にやる気のある企業であれば認めていけばよいと思う。なお、農地に温室を建設すると農地に戻して地主に返還することが事実上困難なため、大型投資を行う場合は所有地でなければ難しいと思う。



トマトの出荷調整作業風景



大島トマト（ルビーのしずく）